

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部 長	森朝 紀文
次 長	出山 恭隆
主 幹	射手矢 弥生
主 幹	中川 直樹
主 査	高橋 和代
主 査	泉原 里絵
主 査	馬場 洋子
主 査	安井 結香里
主 査	若林 里絵
主 査	西村 亜希子
主 査	西井 拓人
	河津 敏明
	北島 正大
	島田 弘子
	松浪 美和
	宮本 紅喜
	北庄司 敦久
	原 義浩
	宮本 訓子
	小垣 睦
	南 佳代
	山道 麻葉
	上田 祥子
	伊藤 健二
	松山 達登
	中川 貴弘
	上見 藍子

—概要—

薬剤科では、調剤、注射薬の無菌混合調製や服薬指導等のさまざまな業務を行っているが、特に、2012年度の診療報酬の改定により、病院薬剤師の念願であった病棟薬剤業務実施加算が新設されたのを受け、全病棟に病棟専任薬剤師を配置し、オーダ入力支援等の新しい業務を実施することにより算定を行っている。

また、厚生労働省医政局通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が発出され、薬剤師がチーム医療に参画することが求められており、当院では感染対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、褥瘡対策チーム、緩和ケアチームに積極的に参加し、医師、看護師等と共に多職種で病棟ラウンドを実施している。生活習慣病予防教室にも参加し、薬剤師が薬に関する患者向けの講習会を行っている。

薬剤科では今後とも、質の高い病棟薬剤業務の実践と有効かつ安全な薬物療法を提供するため、以下の4項目を基本的な理念としている。

《基本理念》

1. 薬の専門家として、患者様にとって有益な薬物療法を提供する。
2. 薬によるインシデント・アクシデントを減少させ、安全な薬物療法を提供する。
3. 臨床薬剤師として医療チームに貢献する。
4. 薬剤師の職能を高めるため、研究心を持って日々努力する。

—実績—

2000年4月より、病院運営の一環として、「医薬分業の徹底と薬剤科病棟業務の充実」に基づき、全面院外処方せん発行を行い、2015年度月平均の発行率は94.1%を達成している。（グラフ1）

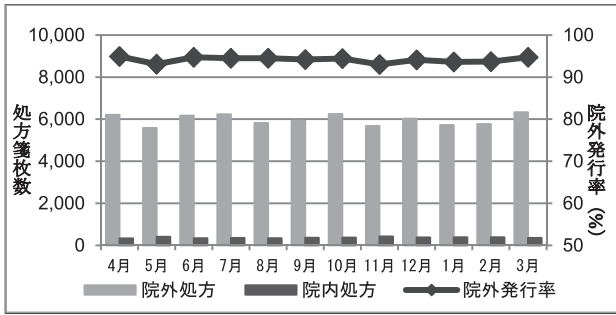
薬剤管理指導における指導患者数及び指導件数については、月平均の指導患者数787名、指導件数1,079件（退院加算272件）と順調な推移を示している。（グラフ2）

また、無菌製剤処理加算の施設基準を2001年3月に取得し、TPN製剤の調製を行っているが、2010年8月より一般の点滴を含めた全ての注射薬の無菌混合調製を行っている。2015年度における混合調製の実績として、調製本数は月平均993本、年間11,916本となっている。（グラフ3）

次に、外来の抗がん剤の調製を2002年8月より開始し、2004年12月より外来・入院の全患者について抗がん剤の調製を実施している。2015年度における実績は月平均292名、年間3,500名の患者に調製を行い、調製本数は月平均441本、年間5,302本となっている。（グラフ4）また、2014年度より、外来にがん認定薬剤師を配置して外来がん患者指導料を算定しており、今年度は件数を増加させることができた。

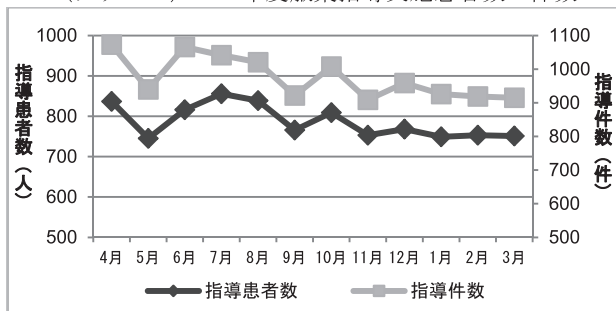
さらに、入退院サポートセンター内に持参薬鑑別コーナーを設置し、入院全ての患者の鑑別を2008年4月より開始している。2015年度における実績は月平均405人、3,060剤となった。（グラフ5）

(グラフ1) 2015年度処方箋枚数と院外処方箋発行率



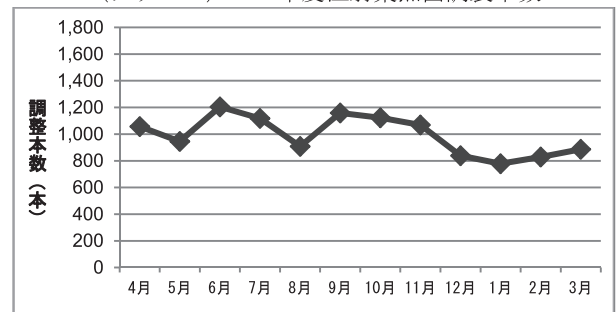
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院外発行率	94.9	93.1	94.7	94.5	94.5	94.2	94.4	93.0	94.1	93.6	93.7	94.7
院外処方箋枚数	6,211	5,584	6,172	6,228	5,823	5,928	6,224	5,673	6,026	5,719	5,767	6,328
院内処方箋枚数	331	412	342	359	342	364	371	429	379	388	390	356

(グラフ2) 2015年度服薬指導実施患者数・件数



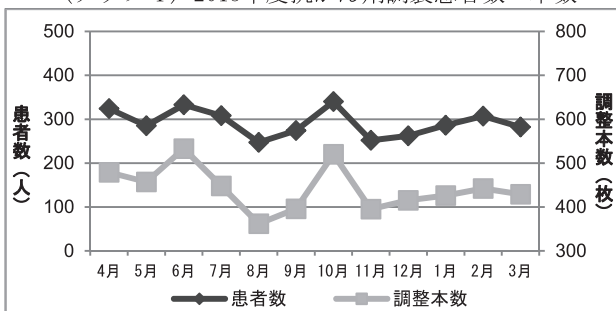
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導患者数	837	745	816	856	839	766	809	753	768	749	753	751
指導件数	1,073	940	1,066	1,042	1,021	922	1,008	909	959	926	919	915

(グラフ3) 2015年度注射薬無菌調製本数



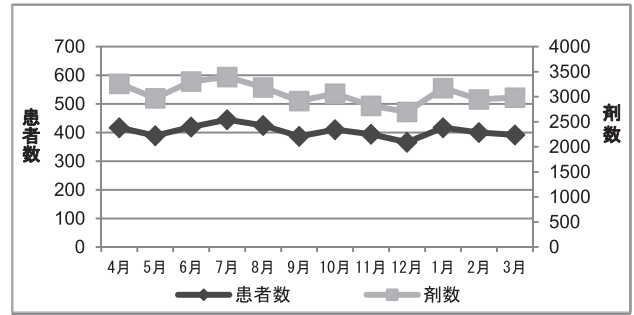
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調製本数	1,057	945	1,205	1,118	908	1,159	1,123	1,069	838	778	829	887

(グラフ4) 2015年度抗がん剤調製患者数・本数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	324	285	333	308	247	274	340	252	262	286	307	282
調製本数	479	457	533	448	362	396	520	395	415	426	442	429

(グラフ5) 2015年度持参薬鑑別患者数・剤数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	417	389	419	445	425	387	410	394	366	417	400	392
剤数	3,260	2,970	3,307	3,394	3,186	2,915	3,064	2,819	2,698	3,174	2,948	2,982

—今年度の成果と反省点—

今年度は、人員が1名不足していたこともあり、服薬指導実施件数が昨年度と同様であった。しかし、退院指導の件数が大きく増加し、患者の希望が最も多い退院時の薬効、服用方法、副作用等を具体的に説明することができたことは評価できると思われる。また、継続して病棟常駐することにより病棟薬剤業務実施加算を算定し、医師、看護師との役割分担業務を展開し、チーム医療に大きく参画できている。

—来年度への抱負—

服薬指導は、件数を増加させるのみではなく、質を向上させる取り組みを行いたい。そのために、がん、感染等の各領域での認定、専門薬剤師の資格の取得を推進していく予定である。

